

***** 佛事の常識・非常識 *****

Q:高松市の市民葬制度が終了したのですが？A:令和4年の8月1日をもって終了します。

高松市のホームページによりますと、「高松市では、市民のみなさんが一般に広く利用できる制度として、昭和49年より市民葬儀制度を開始してきましたが、近年、葬儀に対する考え方が多様化し、事業を開始した当時と比べ、葬儀の形態も大きく変化していることから、市民葬儀制度を終了します。」と書かれています。50年近く続いた制度として、私は個人的には高松市民の福利厚生観点から優れた制度だと思っていましたが、ついに終了することになりました。

何が変わるかホームページでは分かりませんが、具体的に申しますと7月末日までは、市民葬を申し込んだ場合、火葬料金の2万円がかかりませんでした。今後は、長年市民として納税の義務を果たしたとしても2万円の火葬料金を支払わないと火葬してもらえないのです。過去には、葬儀の会場から高松市斎場までの霊柩車の運行料金も補助してもらっていました。高松市は、亡くなった市民にそれなりに手厚く接していて誇らしかったのですが、それが今月から終わったことを意味しているのです。亡くなる人が増え、補助を出す余裕がない事情は容易に推察できますが、それと葬儀の形態が変化していることを理由に制度を廃止するとの説明は不自然な気がします。今回は高松市のことを書きましたが、それ以外の自治体はいかがですか？

***** ハッピープレゼントクイズ *****

クイズに答えて景品をゲットしよう！！

正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポッドをプレゼント。

問:先月、フィギュアスケート競技の第一線から退き、プロ転向を表明した右の写真の人物の名前は次のどれでしょうか？



- ① サカナ君 ② 羽生善治 ③ 羽生結弦

答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキかfaxで徳成寺まで送って下さい。

faxの受付は、朝8時～夜9時までとさせていただきます。

〒760-0017 高松市番町2-13-25 宛て 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係までふるってご応募下さい。毎月22日締切 当選者の発表は景品の発送に代えさせていただきます。

*先月の答え、③の東京ブギウギでした。来年も朝ドラが楽しみです。

***** 坊守の月イチブログ *****

ババア上等！大人のおしゃれ DO&DON'T

地曳いく子×牧村さとのコラボ本です。



若い頃からファッション雑誌をお手本にして、DCブランドからしまむらまでいろいろと着ていました。洋服も和服も大好きだったのに、年齢と共に今まで似合っていたもの、様になっていたものがなんか変。これが「おしゃれ更年期」なんだそうです。若い頃は痩せたらなんとかなる、とか、バサバサ髪でもかっこよかった。でも50歳を過ぎるとそうやすやすと許してくれない。あれれ？こんなにひどかったっけ？ウイナーは肉が皮の中にあるのに、ある日突然どこか一部から肉が漏れ出てダブダブになる感じ……という面白い発想。読んでいてわかる、わかる、の連続です。

もうファッション雑誌をまねる時期は終わりました。今、洋服はどんどんカジュアル化が進んでいるので、今の時流に乗れるアイテムを取り入れたりして、これからはどうすればババアが美しくなれるのかを考えてくれる人を探すのがいいですね。今まで大切に置いてきた若い頃の洋服にさようなら。こちらの本は昭和生まれの女性におススメです。おしゃれのヒントが満載です。